

# TRAIL

## いわき市の経済・景気の動き

経済・景気動向調査報告「トレイル」  
第84号 2024年3月29日発行

いわき市産業振興部

### 【全国景気動向】景気判断、3か月振りに一部引下げ！先行きは個人消費と生産の持ち直しで緩やかに回復！

●「GDP」(24年第IVQ<sup>\*1</sup>、1次速報値<sup>\*2</sup>、2/15)の実質値は▲0.1%と2Q連続のマイナス成長。個人消費は物価高、設備投資は資材高とともに3Q連続でマイナスと内需の停滞が目立つ。物価高を超える賃金上昇と人材不足への対策が今後のカギ。23年通年の成長率は前期比1.9%増で3年連続のプラス(名目は5.7%増で91年以来の高さ)。

区分	前期	今期
GDP(実質) (年率換算)	▲0.8 (▲3.3)	▲0.1 (▲0.4)
個人消費	▲0.3	▲0.2
民間住宅	▲0.6	▲1.0
設備投資	▲0.6	▲0.1
政府消費	0.3	▲0.1
公共投資	▲1.0	▲0.7
輸 出	0.9	2.6
輸 入	1.0	1.7

(前期：確報値。今期：速報値)

<sup>\*1</sup>Q=四半期。<sup>\*2</sup>次速報値(3/9)は0.1%(年率0.4)に下方修正。

●「月例経済報告(2月)」(2/21)の基調判断では、“一部に足踏み”から“一部”を削除し3か月振りに引き下げた。賃金上昇がインフレに追い付かず個人消費の低迷が主因。先行きは、回復基調が崩れたわけではないので、個人消費の回復と製造業の持ち直しで内需が回復し緩やかな回復が期待される。なお、世界的な金融引締め、中国経済の先行き懸念、能登半島地震等の下押しリスクには留意する必要がある。

基調判断	足踏みがあるが穏やかに回復
個人消費	持ち直しに足踏み
設備投資	持ち直しに足踏み
住宅投資	弱含んでいる
輸 出	持ち直しに足踏み
輸 入	概ね横ばい
生 産	生産活動が低下
企業収益	総じて改善
雇用情勢	改善の動き
海外経済	景気下振れリスク
先行き判断	緩やかな回復

(注)太字は今月の修正。

### 目次

【全国景気動向】景気判断、3か月振りに一部引下げ！先行きは個人消費と生産の持ち直しで緩やかに回復！	
【いわき市景気動向】“回復基調”が継続！人手不足、物価高等が下振れ要因！	
【経済・景気四方山話】“消齡化”、“デジタルノマド”、“ライドシェア”等7件	
I 経済・景気調査：2023年第IV四半期(10~12月)	
1. 経済の動き(主要部門別・主要経済データ)	3
2. 景気の動き(景気動向指数)	9
【参考】- 景気動向指数の内容 - 国・県の動き	
II 景気ウォッチャー調査：2024年2月時点	15

### 【いわき市景気動向】“回復基調”が継続！人手不足、物価高等が下振れ要因！

今期も回復基調にある。直近の「景気ウォッチャー調査」(24/2)でも、全業種の“現状DI”が2.7ポイント微減、“先行きDI”は2.0ポイント微増と増減幅は小さい。また全体回答中の“変化なし”の構成比(本調査の原表に記載)でも“現状DI”が55.6%、“先行きDI”で50.8%と、ともに過半となっており、回復基調の流れにある。今後は、全国動向と同様、人手不足、物価高が下振れリスクとなっている。

#### ● 経済・景気調査

【需要動向】新築住宅を除き、大型店販売額、観光需要等が堅調。

区分	前期%	今期%
個人		
大型店舗販売	5.4	4.2
自動車登録	12.9	18.9
建築		
新設住宅	▲2.6	▲23.5
公共工事	▲45.1	75.7
観光需要	15.7	57.8
企業		
生産		
卸売市場取扱	8.1	2.6
輸入通関実績	▲15.8	▲46.6
企業		
法人市民税	17.9	▲14.8
企業倒産件数	2件	6件
雇用		
新規求人倍率	2.12倍	2.37倍
有効求人倍率	1.26倍	1.41倍

注：雇用は9月。前年同期比。

【企業動向】卸売市場取扱、中小企業融資残高、信用保証承諾額等が増加。ただし信用保証協会代位弁済も増加。企業倒産件数も6件(前期2件)、倒産負債額は15億円と増加している。

【雇用動向】新規求人倍率と有効求人倍率は上昇・低下を繰り返しているが、概ね前年水準を維持。雇用保険受給者数は、令和2年から徐々に減少。

※建築確認申請受付件数(本調査の原表に記載)は、集計方法を精査し、R5年5月まで遡って修正した。

#### ● 景気ウォッチャー調査(24年2月時点)

全業種の“現状DI”は2.7ポイントの微減、また“先行きDI”は2.0ポイントの微増と、ともに増減幅は小さい。“自由意見”では、人手不足への懸念が目立つが、他のまちづくり・消費動向では様々な動きがみられるものの、定性的な動きとなっていない。

区分	現状判断DI		先行判断DI	
	今回	対差	今回	対差
全業種	48.0	▲2.7	52.4	2.0
家計	49.5	▲6.2	56.5	2.3
小売	43.5	▲7.7	53.3	2.1
飲食	75.0	0.0	75.0	6.2
サービス	51.7	▲7.1	58.3	0.9
住宅	55.0	5.0	55.0	9.2
企業	42.3	7.3	40.4	2.1
雇用	50.0	0.0	43.8	▲6.2

(産業チャレンジ課)

## 【経済・景気四方山記事】

(原情報の要約・意識や筆者の解釈・所感を含む)

### ● 今後、嗜好や価値観の「消齡化」が進む！

“肉料理を好む若者は多く、シニアは少ない”といった世代間や性差で異なる趣向や価値観の差が消えようとしている。これを「消齡化」という。世代間で“仕事を第一に考えるべき”といった「…べき」が減ったことや、“ネットの普及で誰もがができる”といった「…できる」が全世代に広がったことが要因。このため、今後は“女子大生向き”、“主婦向け”、“高齢者向けといった属性別が不要になるなど、国内市場に新たな可能性をもたらす。

(23/10/2・12/4 日経新聞)

### ● “高齢化というゴースト”への対応！

食の世界では、人口減少以上に高齢化が恐ろしい。高齢者は食べる量が壮年期の半分になるから、ヘッドカウントは1でもスタマックカウント（胃袋人口）は2分の1。この高齢者が30年には全人口の31%を占める。これを高齢者マーケットの面でみれば、何が食べられなくなり何を食べるようになるか、どういう栄養素を採りたがるのか、量は減るが何グラムが適量なのか、などのニーズをつかんだ対応が求められる。高齢化をゴーストのごとく恐れることはない（コンビニの雄として著名な丸谷氏の所論）。（23/12/5 “明日への話題” 丸谷智保著 日経新聞夕刊）

### ● 人口危機に立ち居向かう戦略的提言！

1/9、「人口戦略会議」（民間の経済人、研究者等有志28名で構成。議長：三村・日本製鉄名誉会長）が「人口ビジョン2100」は、“人口が減っても成長できる社会”を目指すための戦略策定と、「仮称：人口戦略推進本部」の政府内設置を提案した。具体的には、A. 定常的戦略：①若年世代の所得向上、雇用改善、②共働き・共育ての実現、③多様なライフスタイルが選択できる社会づくり、④若い男女の健康管理を促すプレコンセプションケア、⑤子育て支援の総合的な制度の構築と財政確保、⑥住まい、通勤、教育費、B. 強靱化戦略：①人への投資の強化、③一人ひとりが活躍する場の拡大、④人口減少地域でのサービスの質的強靱化と持続性向上、C. 対外国人政策：移民政策をとることなく労働目的を中心とする外国人政策の体制整備などを謳っている。（24/1/10・11 日経新聞）

### ● 再び強まる東京圏の人口集中！

総務省が、1/30に発表した「23年人口移動報告」によれば、“コロナ禍”で鈍っていた東京圏への人口流入が、2年連続で前年を超え22年より2.7万人増えた。東京圏の人口集中は少子化や人口減につながるし、災害・国土保全から考えると都市機能や居住を地方に分散した方がいい。が反面、国際競争力を維持するには東京圏の成長が重要である。これらを両立するのは超難問なのは言うまでもない。（24/1/31 日経新聞）

### ● 「デジタルノマド」の受け入れ！

今、国・地域を旅しながらリモートワークをする人が急増している。こうした人々を、遊牧民を意味する“ノマド”と“デジタル”を組み合わせる「デジタルノマド」という。2月3日、出入国在留管理庁は、この「デジタルノマド」を日本に取り込むため専用在留資格制度を設けることを公表した。これにより滞在期間90日が6か月になる。この「デジタルノマド」を地域活性化に結び付けようとする自治体が現れ始めている。（24/2/3 日経新聞）

### ● “ライドシェア”、更なる新規参入容認を！

“ライドシェア”（一般ドライバーが有償で乗客を送迎するサービス）の導入を求める声が全国に広がっている。このため、政府では、①地域・時間帯を限定、②タクシー会社が自家用車の運行を管理（事故防止教育、車両整備、勤務時間管理等）を行う、③運賃はタクシーと同じなどのRSを、24/4から解禁する。ただこれでは、需要急増時の対応、対象地域・時間の拡大、変動価格制の導入等、未解決の課題が多く残されており、来年度中の関係法改正を求め、超党派の研究会が積極的に開催されている。（24/2/21 日経新聞）

### ● 【いわき市発】「アントレプレナー100人会議」開催！

3/12、“いわき産業創造館”において「アントレプレナー100人会議」が開催された。創業しやすい環境の整備に向け、アントレプレナー（創業者）同士のネットワークの構築と“産官金”（産業・行政・金融）の連携強化が目的。会議には104名が参加。アントレプレナー（創業者）10名による事例発表と参加者同士の交流会が実施された。（3/25いわき市産業チャレンジ課）

東日本国際大学名誉教授 大川信行

# I 経済・景気調査：令和5年第IV四半期（10～12月）

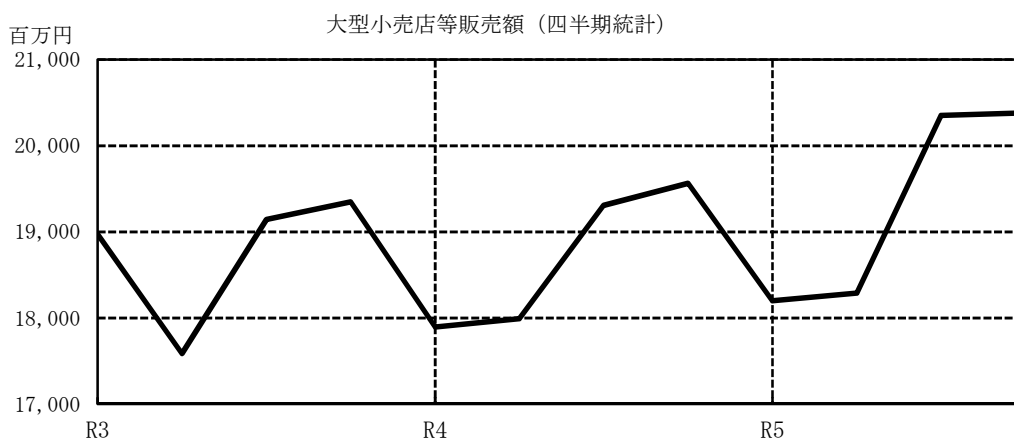
## 1 いわき市の経済の動き

### （1） 主要部門の動向（令和5年第IV四半期（10～12月）の状況）

#### ① 需要動向

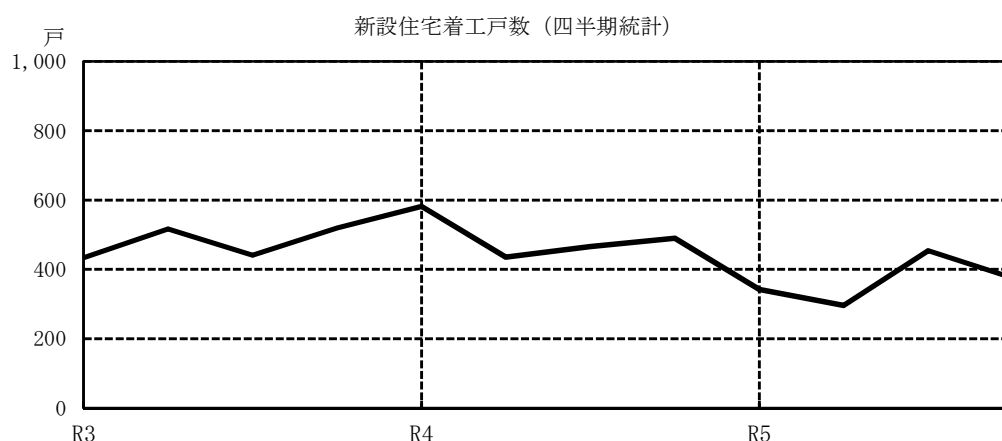
【個人消費】 ○ 第IV四半期（10～12月）の大型小売店等販売額は約204億円（前年同期比4.2%の増加）となり、7四半期連続で前年の水準を上回った。

○ 自動車新規登録台数は4,492台（前年同期比18.9%の増加）となり、6四半期連続で前年の水準を上回った。



【建設需要】 ○ 新設住宅着工戸数は375戸（前年同期比23.5%の減少）となり、5四半期連続で前年の水準を下回った。

○ 公共工事等受注額は約84億円（前年同期比75.7%の増加）となり、2四半期振りに前年の水準を上回った。



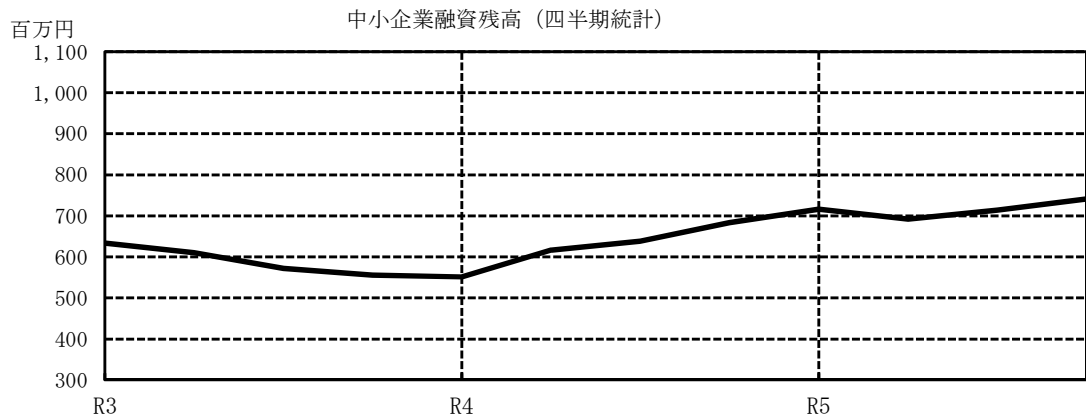
【観光需要】 ○ 観光施設利用者指数は、110.1（前年同期比57.8%の上昇）となり、8四半期連続で前年の水準を上回った。

## ② 企業動向

○ 第IV四半期（10～12月）のいわき市中央卸売市場取扱高は約48億円（前年同期比2.6%の増加）となり、令和3年第IV四半期以降、9四半期連続で前年の水準を上回った。

【企業活動】 ○ いわき市中小企業融資残高は約7.4億円（前年同期比8.4%の増加）となり、7四半期連続で前年の水準を上回った。

○ 負債1千万円以上の企業倒産件数は6件（前年同期と同数）となった。

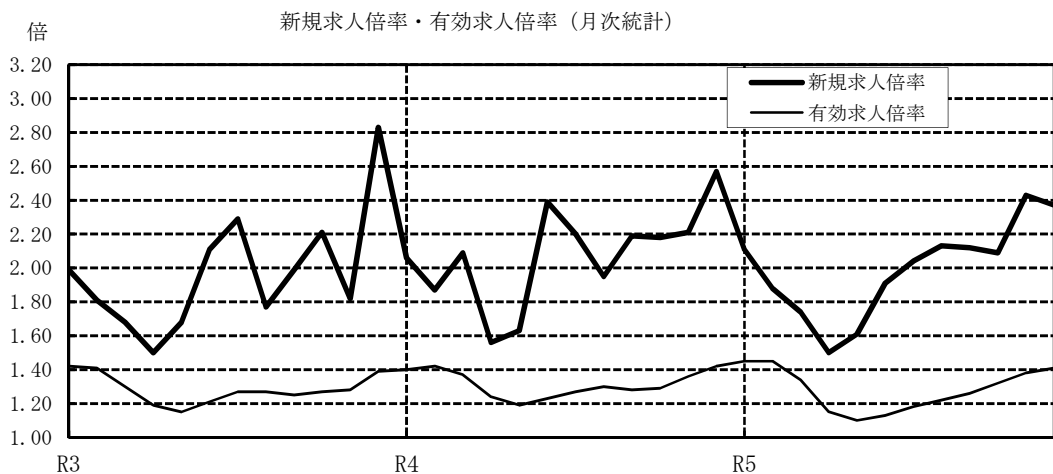


## ③ 雇用情勢

【雇 用】 ○ 12月の新規求人倍率は2.37倍（前年同月より0.20ポイントの低下）となり、2ヵ月振りに前年の水準を下回った。

○ 12月の有効求人倍率は1.41倍（前年同月より0.01ポイントの低下）となり、3ヵ月振りに前年の水準を下回った。

○ 第IV四半期（10～12月）の雇用保険受給者実人員は3,385人（前年同期比1.9%の減少(=改善)）となり、2四半期連続で前年の水準を下回った(改善した)。



(2) 主要経済データ

区分	需要動向													
	個人消費				建設需要						観光需要			
	大型小売店等販売額	前年同期比	自動車新規登録台数	前年同期比	新設住宅着工戸数	前年同期比	建築確認申請受付件数	前年同期比	公共工事等受注額	前年同期比	観光施設利用者指数	前年同期比	入湯税調定人員	前年同期比
年月	(百万円)	(%)	(台)	(%)	(戸)	(%)	(件)	(%)	(百万円)	(%)	(H24・四半期平均=100)	(%)	(人)	(%)
【年次統計】														
令和元年	74,924	-2.8	21,098	3.8	1,646	-31.9	1,084	-16.1	45,162	90.7	367	-6.9	640,323	-5.6
令和2年	76,999	2.8	18,105	-14.2	2,001	21.6	995	-8.2	47,501	5.2	195	-47.0	359,932	-43.8
令和3年	75,051	-2.5	16,318	-9.9	1,911	-4.5	1,077	8.2	87,871	85.0	177	-9.2	301,384	-16.3
令和4年	74,755	-0.4	15,143	-7.2	1,973	3.2	1,176	9.2	34,321	-60.9	271	53.1	407,735	35.3
令和5年	77,220	3.3	17,639	16.5	1,467	-25.6	1,310	11.4	25,367	-26.1	352	30.1	548,789	34.6
【四半期統計】														
令和4年 I	17,893	-5.7	4,595	-17.1	582	34.1	239	-14.3	10,527	-80.2	43.4	38.3	88,479	54.0
II	17,992	2.3	3,128	-16.5	435	-15.9	294	7.7	5,685	-9.1	62.6	71.1	86,525	71.3
III	19,308	0.9	3,643	1.3	466	5.7	314	16.3	13,321	0.1	95.1	100.8	122,725	42.8
IV	19,562	1.1	3,777	10.0	490	-5.6	329	29.0	4,788	-68.1	69.8	13.3	110,006	2.4
令和5年 I	18,198	1.7	5,098	10.9	342	-41.2	241	0.8	3,413	-67.6	61.7	42.0	142,714	61.3
II	18,288	1.6	3,935	25.8	296	-32.0	357	21.4	6,235	9.7	70.7	12.9	122,181	41.2
III	20,353	5.4	4,114	12.9	454	-2.6	385	22.6	7,307	-45.1	110.1	15.7	139,990	14.1
IV	20,381	4.2	4,492	18.9	375	-23.5	327	-0.6	8,412	75.7	110.1	57.8	143,904	30.8
【月次統計】														
令和4年1月	5,976	-7.6	1,302	-12.9	323	289.2	72	-7.7	1,722	-32.2	16.3	89.9	39,607	107.8
2月	5,594	-7.2	1,378	-20.9	125	-43.2	68	-24.4	2,650	-93.2	9.3	9.9	32,721	122.7
3月	6,323	-2.4	1,915	-16.9	134	2.3	99	-10.8	6,156	-48.3	17.8	24.1	16,151	-31.9
4月	5,930	3.3	1,047	-17.9	224	28.0	111	32.1	1,695	-2.5	16.8	49.6	27,481	68.8
5月	6,116	1.1	968	-18.4	68	-58.8	63	-26.7	159	-89.5	26.4	102.9	28,930	71.3
6月	5,946	2.6	1,113	-13.2	143	-19.2	120	16.5	3,831	27.4	19.4	57.0	30,114	73.6
7月	6,518	2.0	1,218	-9.8	188	27.9	81	-10.0	4,614	-7.5	26.0	23.5	31,467	12.8
8月	6,737	0.7	994	-8.1	100	-35.1	117	46.3	4,158	46.2	43.8	162.9	37,199	12.4
9月	6,053	-0.2	1,431	22.9	178	27.1	116	16.0	4,549	-17.0	25.3	162.4	54,059	116.7
10月	6,273	2.7	1,209	19.8	147	-21.0	116	31.8	2,580	-76.1	25.1	40.5	44,320	34.3
11月	6,171	5.4	1,394	3.9	120	0.8	116	33.3	1,171	13.8	21.8	0.7	43,306	24.3
12月	7,118	-3.6	1,174	8.3	223	4.2	97	21.3	1,037	-67.6	23.0	3.5	22,380	-43.5
令和5年1月	6,134	2.6	1,442	10.8	89	-72.4	82	13.9	216	-87.5	19.0	16.4	58,444	47.6
2月	5,639	0.8	1,548	12.3	98	-21.6	91	33.8	684	-74.2	17.2	83.9	35,888	9.7
3月	6,425	1.6	2,108	10.1	155	15.7	68	-31.3	2,513	-59.2	25.5	43.5	48,382	199.6
4月	6,058	2.2	1,292	23.4	87	-61.2	102	-8.1	1,234	-27.2	20.1	20.3	45,605	66.0
5月	6,235	1.9	1,234	27.5	66	-2.9	113	79.4	491	209.5	29.2	10.4	37,374	29.2
6月	5,995	0.8	1,409	26.6	143	0.0	142	18.3	4,510	17.7	21.3	10.0	39,202	30.2
7月	6,809	4.5	1,315	8.0	123	-34.6	146	80.2	2,775	-39.9	29.7	14.3	36,886	17.2
8月	7,148	6.1	1,176	18.3	119	19.0	133	13.7	1,479	-64.4	54.8	25.0	40,640	9.3
9月	6,396	5.7	1,623	13.4	212	19.1	106	-8.6	3,053	-32.9	25.6	1.2	62,464	15.5
10月	6,372	1.6	1,645	36.1	110	-25.2	110	-5.2	4,749	84.0	29.7	18.5	46,919	5.9
11月	6,112	-1.0	1,585	13.7	150	25.0	120	3.4	2,046	74.7	54.8	151.7	49,675	14.7
12月	7,897	10.9	1,262	7.5	115	-48.4	97	0.0	1,617	56.0	25.6	11.6	47,310	111.4
出典:	いわき市産業 チャレンジ課		いわき自動車検査登 録事務所、全国軽自 動車協会連合会いわ き支所		県土木部		市建築指導課		いわき市建設業協 同組合、(社)福島 県建設業協会いわ き支部		いわき市産業 チャレンジ課(市内 主要観光施設 の利用者数を 指数化)		いわき市市民 税課	

(注) ーは「調査データなし」または変化率の分母が0になる場合、速報値を含む。  
 四半期統計において I は1～3月、II は4～6月、III は7月～9月、IV は10～12月を示す。

区 分	企業動向													
	生産活動				企業活動									
	いわき市 中央卸売 市場取扱 高	前年 同期比	小名浜港 輸入通関 実績	前年 同期比	いわき 市中小 企業融 資残高		いわき 市中小 企業融 資利率		信用保 証承諾 額		信用保 証協会 代位弁 済		法人市 民税調 定額	
					(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(%)	(%p)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
年 月	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(%)	(%p)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
【年次統計】														
令和元年	12,898	-7.4	345,294	-8.7	1,009	-12.7	2.05	0.0	21,136	13.4	964	60.1	4,101	-19.8
令和2年	13,550	5.1	321,606	-6.9	781	-22.5	2.13	0.1	67,962	221.6	560	-41.9	4,199	2.4
令和3年	13,930	2.8	355,137	10.4	593	-24.1	2.06	-0.1	37,047	-45.5	220	-60.7	3,312	-21.1
令和4年	14,883	6.8	624,189	75.8	622	5.0	1.77	-0.3	21,406	-42.2	738	234.8	3,577	8.0
令和5年	16,040	7.8	530,374	-15.0	716	15.0	1.62	-0.2	26,677	24.6	932	26.3	3,359	-6.1
【四半期統計】														
令和4年 I	3,149	5.0	102,907	48.6	551	-13.0	2.02	-0.08	6,536	-65.1	265	134.3	459	17.1
II	3,302	0.4	160,831	106.5	616	0.9	1.33	-0.85	3,471	-50.6	50	168.7	1,199	-2.0
III	3,711	8.4	166,716	56.2	639	11.6	2.03	0.21	5,912	-2.3	242	473.0	726	-15.7
IV	4,720	11.8	193,735	91.2	684	23.1	1.78	-0.43	5,488	5.0	180	289.1	1,193	42.8
令和5年 I	3,446	9.4	152,954	48.6	716	29.9	1.99	-0.03	8,506	30.1	223	-15.8	502	9.3
II	3,740	13.3	133,582	-16.9	692	12.3	1.21	-0.12	4,815	38.7	117	132.1	985	-17.8
III	4,011	8.1	140,384	-15.8	714	11.8	1.99	-0.04	6,906	16.8	255	5.2	857	17.9
IV	4,843	2.6	103,454	-46.6	741	8.4	1.28	-0.50	6,450	17.5	337	86.7	1,016	-14.8
【月次統計】														
令和4年1月	1,025	8.8	37,863	89.0	552	-12.6	1.95	-0.25	1,212	-47.6	45	-19.5	111	32.4
2月	975	0.1	27,215	14.1	542	-15.4	-	-	1,614	-67.7	206	-	132	8.4
3月	1,149	6.0	37,829	49.1	559	-11.0	2.09	0.19	3,709	-67.6	13	-76.0	216	15.9
4月	1,141	0.7	54,696	111.8	580	-6.7	1.20	-1.00	927	-74.0	0	-	114	3.5
5月	1,093	-1.0	51,007	106.6	630	3.0	1.68	-0.52	1,245	-3.4	38	-	283	-3.6
6月	1,068	1.7	55,128	101.3	639	6.8	1.10	-1.05	1,298	-40.3	12	-34.3	802	-2.2
7月	1,275	1.3	46,274	61.0	632	9.2	2.12	-0.08	1,702	-16.5	102	665.6	342	-18.9
8月	1,278	13.3	60,189	78.8	628	7.6	2.20	0.65	1,411	-0.7	4	-37.7	295	-13.2
9月	1,158	11.9	60,253	36.0	655	18.5	1.77	0.07	2,800	8.0	136	513.1	89	-10.6
10月	1,256	10.1	67,536	57.5	683	26.4	1.70	-	1,420	10.1	141	-	113	43.8
11月	1,280	6.5	56,208	112.6	673	19.0	2.20	0.00	1,496	-2.7	7	33.3	993	41.3
12月	2,184	16.4	69,991	118.9	694	24.1	1.43	-0.78	2,572	7.3	33	-20.8	87	59.5
令和5年1月	1,089	6.3	50,374	33.0	700	26.8	2.00	0.05	1,529	26.1	2	-95.6	91	-17.7
2月	1,072	9.9	45,458	67.0	733	35.2	2.20	-	2,294	42.1	90	-56.5	125	-5.4
3月	1,284	11.8	57,122	51.0	715	27.8	1.76	-0.33	4,682	26.2	132	895.8	285	32.3
4月	1,217	6.7	38,877	-28.9	701	21.0	1.03	-0.18	1,116	20.4	1	-	151	32.6
5月	1,260	15.3	47,170	-7.5	694	10.2	1.55	-0.13	1,655	32.9	116	205.3	304	7.5
6月	1,264	18.3	47,535	-13.8	681	6.5	1.05	-0.05	2,044	57.4	0	-100.0	530	-33.9
7月	1,375	7.8	42,781	-7.5	679	7.4	2.10	-0.02	2,799	64.4	215	110.1	400	16.8
8月	1,334	4.4	42,704	-29.1	703	11.8	1.95	-0.25	2,343	66.1	33	678.3	370	25.6
9月	1,302	12.4	54,899	-8.9	760	15.9	1.92	0.15	1,764	-37.0	7	-94.8	86	-3.2
10月	1,303	3.7	19,947	-70.5	750	9.8	1.50	-0.20	1,862	31.1	158	12.5	138	22.6
11月	1,334	4.2	33,244	-40.9	731	8.5	1.28	-0.93	1,565	4.6	148	2,037.8	792	-20.3
12月	2,206	1.0	50,263	-28.2	743	7.0	1.05	-0.38	3,024	17.6	30	-7.6	86	-1.4
出典：	いわき市中央卸売市場（水産）	横浜税関	いわき市産業チャンジ課（年次統計は12カ月の平均値、四半期統計は3カ月の平均値） ”-”は実績なし。実績ない月は平均値算出から除く。				福島県信用保証協会				いわき市市民税課（法人税割）			

(注) -は「調査データなし」または変化率の分母が0になる場合。速報値を含む。  
四半期統計においてIは1～3月、IIは4～6月、IIIは7月～9月、IVは10～12月を示す。

区 分	企業動向									
	倒産				中小企業DI調査					
	企業倒産件数		企業倒産負債総額		製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	総合(全業種)
	前年同期比	前年同期比	前年同期比	前年同期比						
年月	(件)	(%)	(百万円)	(%)						
【年次統計】										
令和元年	14	-6.7	1,669	-82.6	-	-	-	-	-	-
令和2年	14	0.0	1,186	-28.9	-	-	-	-	-	-
令和3年	10	-28.6	1,375	15.9	-	-	-	-	-	-
令和4年	13	30.0	1,714	24.7	-	-	-	-	-	-
令和5年	16	23.1	4,649	171.2	-	-	-	-	-	-
【四半期統計】										
令和4年 I	4	100.0	578	191.9	-	-	-	-	-	-
II	1	-50.0	477	189.1	-	-	-	-	-	-
III	2	0.0	137	-74.9	-	-	-	-	-	-
IV	6	50.0	522	11.8	-	-	-	-	-	-
令和5年 I	3	-25.0	95	-83.6	-	-	-	-	-	-
II	5	400.0	2,871	501.9	-	-	-	-	-	-
III	2	0.0	165	20.4	-	-	-	-	-	-
IV	6	0.0	1,518	190.8	-	-	-	-	-	-
【月次統計】										
令和4年1月	2	100.0	365	94.1	-	-	-	-	-	-
2月	0	-100.0	0	-100.0	-	-	-	-	-	-
3月	2	-	213	-	-7.4	-30.8	-25.0	-33.3	-50.0	-23.8
4月	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-
5月	0	-100.0	0	-100.0	-	-	-	-	-	-
6月	1	-	477	-	0.0	-44.0	-25.0	-50.0	22.2	-12.5
7月	1	0.0	127	-51.2	-	-	-	-	-	-
8月	1	-	10	-	-	-	-	-	-	-
9月	0	-100.0	0	-100.0	-21.9	-25.0	9.1	-11.1	25.0	-12.5
10月	3	50.0	220	89.7	-	-	-	-	-	-
11月	2	0.0	292	-16.8	-	-	-	-	-	-
12月	1	-	10	-	-22.6	-42.9	-7.7	-42.9	12.5	-19.7
令和5年1月	0	-100.0	0	-	-	-	-	-	-	-
2月	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-
3月	3	50.0	95	-55.4	-30.0	-40.0	-22.2	-25.0	0.0	-25.3
4月	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-
5月	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-
6月	5	400.0	2,871	501.9	-14.2	-10.0	-18.2	-70.0	-11.1	-22.1
7月	1	0.0	15	-88.2	-	-	-	-	-	-
8月	1	0.0	150	1,400.0	-	-	-	-	-	-
9月	0	-	0	-	-23.4	-37.5	-27.3	-50.0	-12.5	-28.3
10月	2	-33.3	270	22.7	-	-	-	-	-	-
11月	3	50.0	516	76.7	-	-	-	-	-	-
12月	1	0.0	732	7,220.0	-24.1	16.6	0.0	-44.4	0.0	-16.6
出典：	東京商工リサーチ（負債総額1,000万円以上）				福島県産業振興センター(前年同月比で「良化」-「悪化」社数構成比(各月末時点)) 平成17年4月以降3ヵ月毎に調査					

(注) -は「調査データなし」または変化率の分母が0になる場合。速報値を含む。  
四半期統計においてIは1～3月、IIは4～6月、IIIは7月～9月、IVは10～12月を示す。

区 分	雇用						その他						
	新規 求人 倍率		有効 求人 倍率		雇用保 険受給 者実人 員		高速道 路出入 交通量		いわき市景気ウォッチャー調査(先行きD I)				
	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	家計動向	企業動向	雇用関連	総合		
年 月	(倍)	(%p)	(倍)	(%p)	(人)	(%)	(千台)	(%)					
【年次統計】													
令和元年	2.14	-0.07	1.57	-0.05	13,479	3.1	9,319	-8.4	-	-	-	-	-
令和2年	1.91	-0.23	1.33	-0.24	15,827	17.4	7,760	-16.7	-	-	-	-	-
令和3年	1.99	0.08	1.29	-0.04	14,808	-6.4	7,427	-4.3	-	-	-	-	-
令和4年	2.02	0.03	1.31	0.03	14,068	-5.0	7,855	5.8	-	-	-	-	-
令和5年					13,914	-1.1	8,331	6.1	-	-	-	-	-
【四半期統計】													
令和4年 I	-	-	-	-	3,248	-7.0	1,747	-3.0	-	-	-	-	-
II	-	-	-	-	3,484	-8.1	1,955	9.4	-	-	-	-	-
III	-	-	-	-	3,885	-3.1	2,087	15.6	-	-	-	-	-
IV	-	-	-	-	3,451	-1.8	2,066	1.6	-	-	-	-	-
令和5年 I	-	-	-	-	3,220	-0.9	1,936	10.8	-	-	-	-	-
II	-	-	-	-	3,513	0.8	2,018	3.2	-	-	-	-	-
III	-	-	-	-	3,796	-2.3	2,218	6.2	-	-	-	-	-
IV	-	-	-	-	3,385	-1.9	2,159	4.5	-	-	-	-	-
【月次統計】													
令和4年1月	2.06	0.07	1.40	-0.02	1,089	-10.4	596	7.5	-	-	-	-	-
2月	1.87	0.06	1.42	0.01	1,027	-9.2	502	-9.9	52.3	41.7	54.2	50.3	-
3月	2.09	0.41	1.37	0.07	1,132	-1.3	649	-5.9	-	-	-	-	-
4月	1.56	0.06	1.24	0.05	1,109	-10.9	647	6.1	-	-	-	-	-
5月	1.63	-0.05	1.19	0.04	1,084	-9.4	667	16.3	52.5	56.3	58.3	53.8	-
6月	2.39	0.28	1.23	0.02	1,291	-4.4	641	6.3	-	-	-	-	-
7月	2.20	-0.09	1.27	0.00	1,256	-7.4	689	3.8	-	-	-	-	-
8月	1.95	0.18	1.30	0.03	1,369	-0.4	727	25.5	47.8	45.5	45.8	47.2	-
9月	2.19	0.20	1.28	0.03	1,260	-1.6	671	19.3	-	-	-	-	-
10月	2.18	-0.03	1.29	0.02	1,198	-1.4	705	7.4	-	-	-	-	-
11月	2.21	0.39	1.36	0.08	1,140	0.3	679	-0.3	46.0	33.9	54.2	44.1	-
12月	2.57	-0.26	1.42	0.03	1,113	-4.1	681	-2.0	-	-	-	-	-
令和5年1月	2.11	0.05	1.45	0.05	1,093	0.4	625	4.9	-	-	-	-	-
2月	1.88	0.01	1.45	0.03	1,052	2.4	594	18.3	55.0	39.6	55.0	51.8	-
3月	1.74	-0.35	1.34	-0.03	1,075	-5.0	717	10.4	-	-	-	-	-
4月	1.50	-0.06	1.15	-0.09	1,083	-2.3	663	2.5	-	-	-	-	-
5月	1.61	-0.02	1.10	-0.09	1,202	10.9	702	5.4	61.3	45.3	50.0	56.9	-
6月	1.91	-0.48	1.13	-0.10	1,228	-4.9	653	1.7	-	-	-	-	-
7月	2.04	-0.16	1.18	-0.09	1,258	0.2	733	6.4	-	-	-	-	-
8月	2.13	0.18	1.22	-0.08	1,326	-3.1	800	10.1	56.1	36.7	53.6	51.8	-
9月	2.12	-0.07	1.26	-0.02	1,212	-3.8	684	1.9	-	-	-	-	-
10月	2.09	-0.09	1.32	0.03	1,225	2.3	721	2.3	-	-	-	-	-
11月	2.43	0.22	1.38	0.02	1,111	-2.5	719	5.8	54.2	38.3	50.0	50.4	-
12月	2.37	-0.20	1.41	-0.01	1,049	-5.8	719	5.6	-	-	-	-	-
出典：	ハロワークいわき（年間倍率は年度ベースの値）						株式会社ネクスコ・トール東北いわき事業部		いわき市産業戦略課(H30.1調査開始)景気ウォッチャー（いわき市民）に景気の先行きを質問。良くなる（1点）、不変（0.5点）、悪く（0点）に回答者構成比を乗じて指数を算出。				



## 2 いわき市の景気の動き（景気動向指数）（令和5年第Ⅳ四半期（10～12月）の状況）

### （1） C I（コンポジット・インデックス）

#### ① 概要

12月のCIは、先行指数が87.3、一致指数が94.2、遅行指数が91.3となった。

#### ② 指数別の動向（指数は平成27年の水準を100とする）

【先行指数】 12月は87.3ポイントで、2ヵ月連続で低下した。

寄与度がプラスの指標は、一致指数トレンド成分（21ヵ月連続）の1指標のみ、マイナスの指標は、新規求人倍率（2ヵ月振り）、中小企業D I（全業種）（3ヵ月振り）等の7指標であった。

【一致指数】 12月は94.2ポイントで、3ヵ月連続で上昇した。

寄与度がプラスの指標は、鉱工業生産指数（2ヵ月振り）、大型小売店等販売額（4ヵ月振り）等の6指標、マイナスの指標は、有効求人倍率（2ヵ月連続）、いわき市中小企業融資残高（3ヵ月連続）等の3指標であった。

【遅行指数】 12月は91.3ポイントで、3ヵ月振りに上昇した。

寄与度がプラスの指標は、鉱工業在庫指数（5ヵ月振り）、法人市民税調定額（2ヵ月振り）等の6指標、マイナスの指標は、入湯税調定人員（2ヵ月振り）の1指標であった。

※C Iの変化の大きさは景気の勢い（テンポ）を示す。

#### ③ 指数の推移及び寄与度の内訳（C Iの上昇・下降がどの指標により引き起こされたか）（平成27年＝100）

区 分	令和5年											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
<b>先行指数（C I）</b>	92.9	92.0	90.5	95.9	95.3	100.5	98.7	100.5	95.4	96.9	96.1	87.3
前月差(ポイント)（寄与度合計）	-1.66	-0.90	-1.49	5.35	-0.6	5.22	-1.88	1.85	-5.10	1.46	-0.75	-8.76
先行系列寄与度内訳												
1. 自動車新規登録台数	0.42	0.29	0.32	3.28	-0.34	0.82	-2.88	2.44	-0.18	3.67	-3.46	-0.48
2. 新設住宅着工戸数	-2.37	-0.45	2.38	-3.03	0.56	1.42	-0.77	0.73	1.71	-2.62	1.38	-1.31
3. 建築確認申請受付件数	-0.85	0.24	-3.57	3.69	0.86	0.32	1.75	-1.74	-2.72	0.75	1.27	-0.91
4. 鉱工業在庫率指数（逆）	-0.28	-1.90	0.91	0.13	-1.83	1.47	-0.57	0.08	1.00	0.02	-1.28	-1.18
5. 中小企業D I（全業種）	0.00	0.00	-0.78	-0.01	-0.02	0.46	-0.01	-0.01	-3.85	0.05	0.05	-2.17
6. 新規求人倍率	1.31	-1.23	-0.84	1.24	-1.23	0.62	0.50	1.79	-1.11	-0.41	1.54	-3.01
7. いわき市景気ウォッチャー先行き判断DI	0.01	2.08	-0.03	-0.03	1.43	-0.04	-0.04	-1.58	-0.04	-0.04	-0.42	-0.01
8. 一致指数トレンド成分	0.10	0.08	0.12	0.08	0.01	0.15	0.12	0.13	0.10	0.03	0.17	0.31
<b>一致指数（C I）</b>	99.1	98.9	95.8	92.2	89.0	89.6	90.4	90.9	90.3	90.7	91.0	94.2
前月差(ポイント)（寄与度合計）	2.09	-0.22	-3.07	-3.64	-3.21	0.59	0.87	0.53	-0.62	0.34	0.34	3.22
一致系列寄与度内訳												
1. 公共工事受注額	-0.68	-0.95	-1.76	-0.22	0.21	0.39	-0.96	-1.55	-0.93	1.41	0.55	0.36
2. 観光施設利用者指数	0.35	-0.22	-0.02	0.13	0.37	-0.52	0.65	0.57	-1.23	1.69	1.70	-1.70
3. 大型小売店等販売額	1.43	-0.44	0.17	0.11	-0.06	-0.24	0.76	0.34	-0.10	-0.88	-0.54	1.69
4. 鉱工業生産指数	0.04	-0.45	-0.20	0.31	-1.34	0.84	-0.15	-0.12	-0.21	0.35	-1.67	1.71
5. 鉱工業出荷指数	-0.09	-0.73	0.75	-0.17	-1.35	0.71	-0.17	-0.02	0.38	-0.10	-1.07	0.86
6. 小名浜港輸入通関実績	-0.71	-0.20	0.48	-0.95	0.45	0.12	-0.05	-0.11	0.57	-1.70	1.69	1.03
7. いわき市中小企業融資残高	0.65	1.75	-1.85	-1.76	-1.69	-0.91	0.20	1.04	0.95	-1.50	-0.35	-0.39
8. 有効求人倍率	0.77	0.45	-0.67	-1.12	0.05	0.17	0.30	0.44	0.68	0.71	-0.18	-0.55
9. 高速道路出入交通量	0.34	0.57	0.03	0.03	0.14	0.04	0.30	-0.05	-0.75	0.36	0.22	0.21
<b>遅行指数（C I）</b>	89.7	87.4	90.5	88.8	87.7	88.6	88.3	88.1	91.2	88.5	86.5	91.3
前月差(ポイント)（寄与度合計）	3.53	-2.34	3.07	-1.70	-1.10	0.90	-0.24	-0.17	3.01	-2.67	-1.95	4.74
遅行系列寄与度内訳												
1. 入湯税調定人員	2.61	-2.76	1.14	0.71	-1.13	0.15	-0.30	0.41	0.52	-0.33	0.31	-0.82
2. いわき市中央卸売市場取扱高	-1.24	-0.01	0.85	-1.59	1.78	0.71	-1.50	-0.69	2.36	-1.66	-0.12	0.35
3. 鉱工業在庫指数	0.26	1.25	0.20	-0.49	-0.40	-0.15	0.34	-0.05	-0.39	-0.16	-0.54	2.70
4. いわき市中小企業融資利率	1.90	-0.02	-0.94	0.06	0.37	0.17	0.16	-0.55	1.02	-1.04	-1.51	0.81
5. 法人市民税調定額	-0.58	-0.16	0.93	-0.03	-0.67	-1.84	1.81	0.51	-0.82	1.34	-1.27	0.81
6. 雇用保険受給者実人員（逆）	0.51	-0.72	0.77	-0.44	-1.05	1.73	-0.86	0.08	0.22	-0.86	1.02	0.59
7. 一致指数トレンド成分	0.09	0.08	0.11	0.07	0.01	0.13	0.11	0.12	0.09	0.03	0.16	0.30

注1) C Iはトレンド（長期的趨勢）と、トレンド周りの変化を合成し作成される。

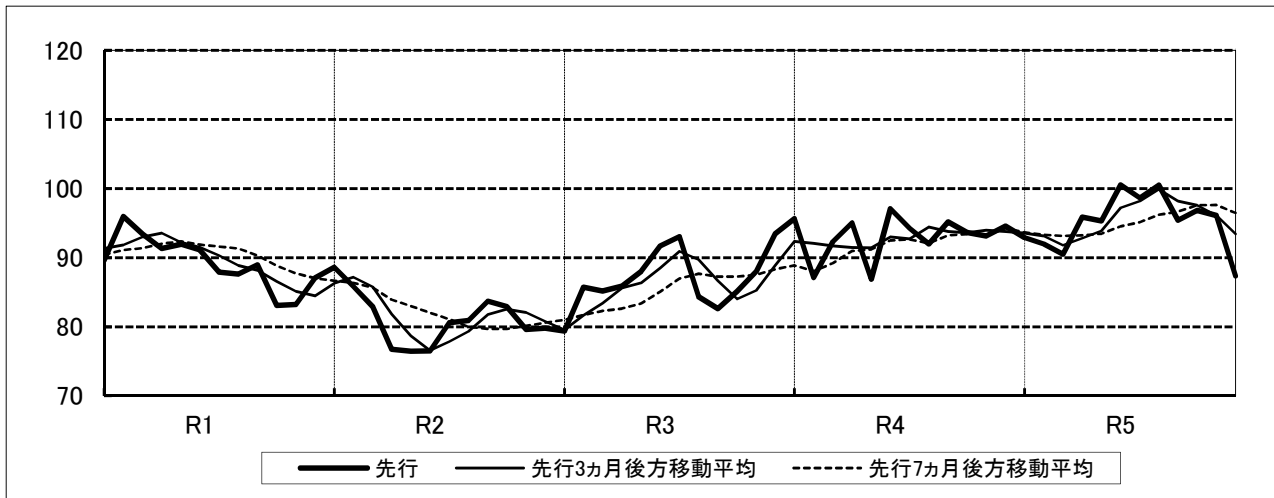
2) 一致指数トレンド成分とは、一致指数の長期的趨勢が先行指数、遅行指数に与えた影響を示す。

3) 寄与度とは、指数の変化にそれぞれの指標がどの程度の影響を与えたかを示す。

#### ④ CIの推移

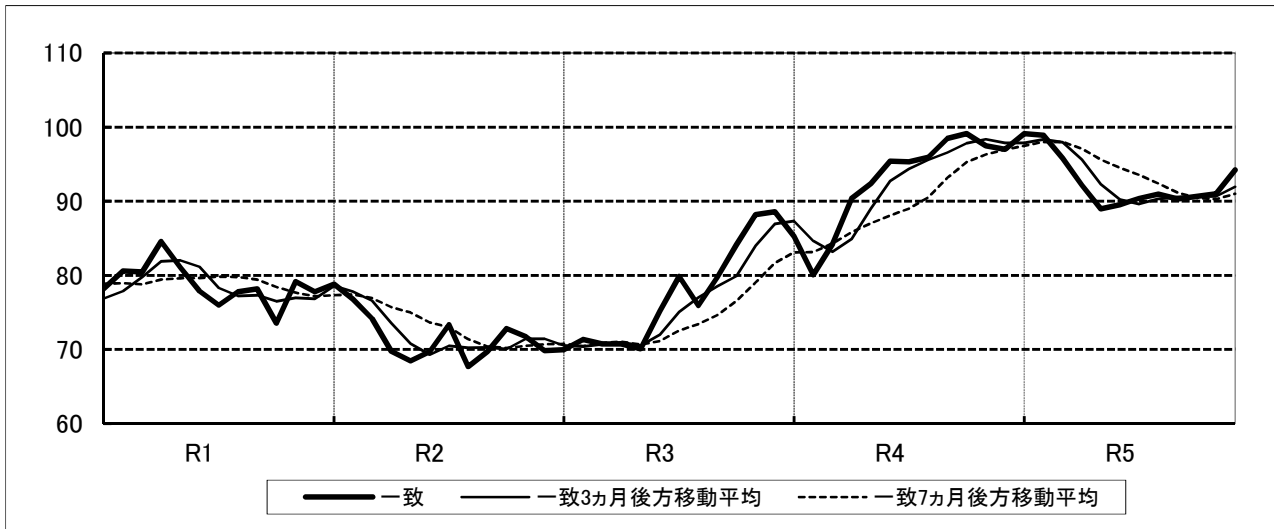
##### ・先行指数の推移

(平成27年=100)



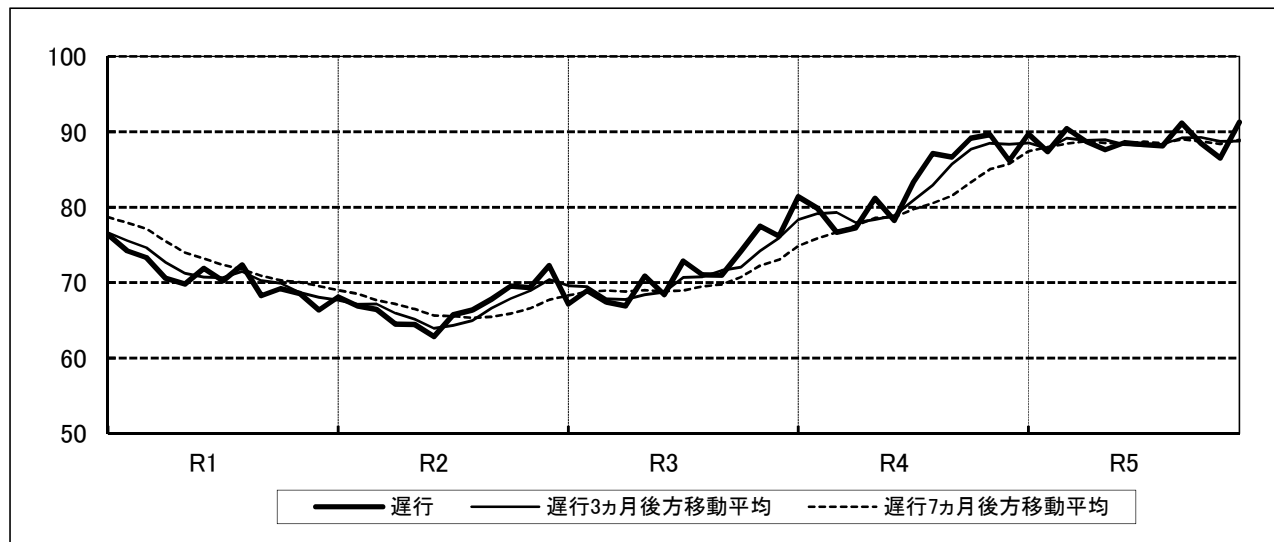
##### ・一致指数の動向

(平成27年=100)



##### ・遅行指数の動向

(平成27年=100)



⑤ CIデータ

・先行指数

(平成27年=100)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
26	118.0	126.6	125.0	107.7	116.6	110.6	111.4	110.7	109.8	109.6	105.2	109.7
27	109.4	101.0	105.3	99.6	97.4	100.0	99.8	98.7	98.4	98.7	98.8	92.9
28	95.3	89.8	84.3	91.3	90.6	86.0	91.7	87.3	82.8	87.8	87.4	90.7
29	85.8	88.6	89.5	91.8	89.7	96.2	89.8	95.0	96.9	90.9	90.3	95.4
30	94.8	93.4	91.5	93.0	93.6	92.4	91.2	91.4	86.7	89.6	94.3	90.0
1	89.6	96.0	93.4	91.3	91.9	91.1	87.9	87.6	89.0	83.1	83.2	87.1
2	88.6	85.8	82.9	76.7	76.5	76.5	80.6	80.9	83.7	82.9	79.6	79.8
3	79.4	85.7	85.2	85.9	88.0	91.7	93.0	84.3	82.6	85.1	88.0	93.5
4	95.6	87.1	92.3	95.0	86.9	97.1	94.3	92.0	95.2	93.6	93.2	94.6
5	92.9	92.0	90.5	95.9	95.3	100.5	98.7	100.5	95.4	96.9	96.1	87.3

・一致指数

(平成27年=100)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
26	106.1	101.2	107.6	99.6	101.2	103.4	104.4	108.2	106.0	105.8	101.9	99.9
27	103.1	101.9	100.8	102.5	101.6	99.7	101.0	101.1	101.0	96.9	95.8	94.6
28	94.1	93.1	87.3	90.1	86.9	90.1	91.1	87.7	90.3	94.6	97.3	98.4
29	96.0	95.9	96.8	95.7	96.6	95.6	91.1	92.3	91.1	89.0	90.8	93.4
30	90.6	90.4	88.1	86.5	86.7	82.3	80.0	81.6	80.0	79.8	77.7	74.8
1	78.2	80.6	80.5	84.6	81.1	77.9	76.0	77.8	78.2	73.5	79.2	77.8
2	78.8	76.8	74.2	69.8	68.5	69.7	73.4	67.7	69.7	72.8	71.7	69.8
3	70.0	71.4	70.7	70.7	70.1	75.2	79.9	75.9	79.7	84.1	88.2	88.6
4	85.3	80.1	84.2	90.4	92.4	95.4	95.3	95.9	98.5	99.1	97.5	97.0
5	99.1	98.9	95.8	92.2	89.0	89.6	90.4	90.9	90.3	90.7	91.0	94.2

・遅行指数

(平成27年=100)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
26	100.9	103.3	100.5	102.6	106.6	105.4	101.8	100.7	97.2	98.1	98.2	100.8
27	101.1	100.9	106.2	103.3	102.5	98.9	100.8	98.6	99.1	98.8	95.2	94.6
28	93.8	97.6	93.5	92.5	90.4	88.9	88.6	89.8	87.8	89.7	86.9	85.8
29	88.5	82.4	86.3	83.4	79.6	79.0	78.4	76.2	79.7	77.3	79.2	81.5
30	77.0	76.9	80.8	78.8	83.9	82.1	79.1	79.1	82.1	80.4	77.4	76.2
1	76.4	74.2	73.3	70.6	69.8	71.9	70.2	72.3	68.3	69.2	68.6	66.4
2	68.1	66.9	66.5	64.5	64.5	62.9	65.7	66.4	67.8	69.6	69.4	72.3
3	67.2	69.0	67.4	66.9	70.8	68.4	72.9	71.0	71.0	74.2	77.5	76.2
4	81.4	79.9	76.7	77.3	81.2	78.2	83.3	87.1	86.7	89.2	89.6	86.2
5	89.7	87.4	90.5	88.8	87.7	88.6	88.3	88.1	91.2	88.5	86.5	91.3

## (2) DI (デフレーション・インデックス)

### ① 概要

【先行指数】 12月は、28.6%と4ヵ月連続で50%を下回った。

【一致指数】 12月は、55.6%と2ヵ月振りに50%を上回った。

【遅行指数】 12月は、50.0%と3ヵ月連続で保ち合いとなった。

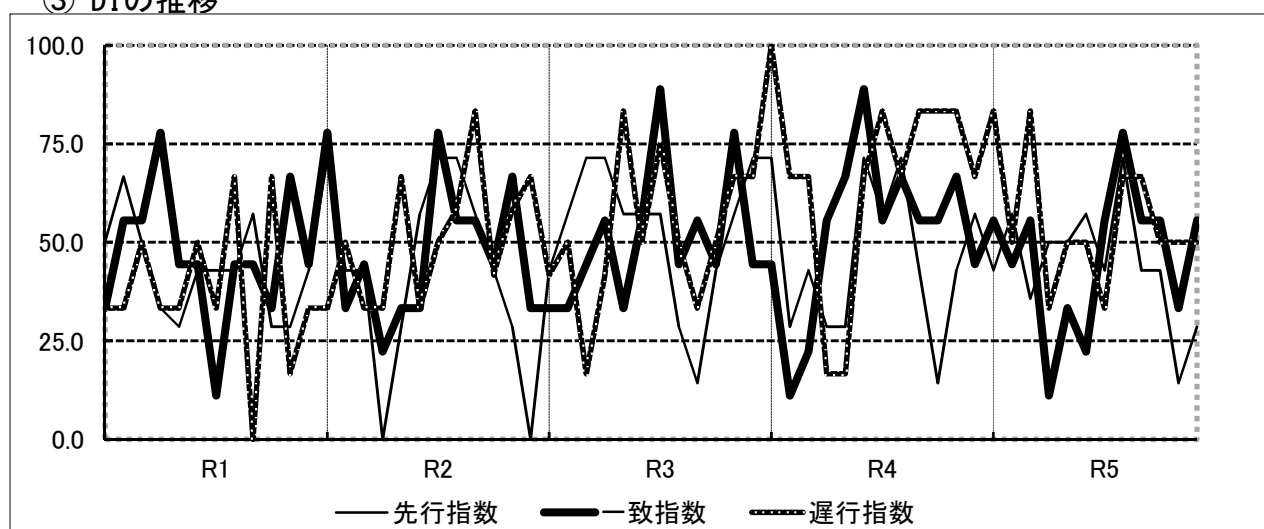
(注) 各指数とも50%が景気の拡張期と後退期との境目とされる (一景気動向指数利用の手引き-参照)

### ② DIの推移

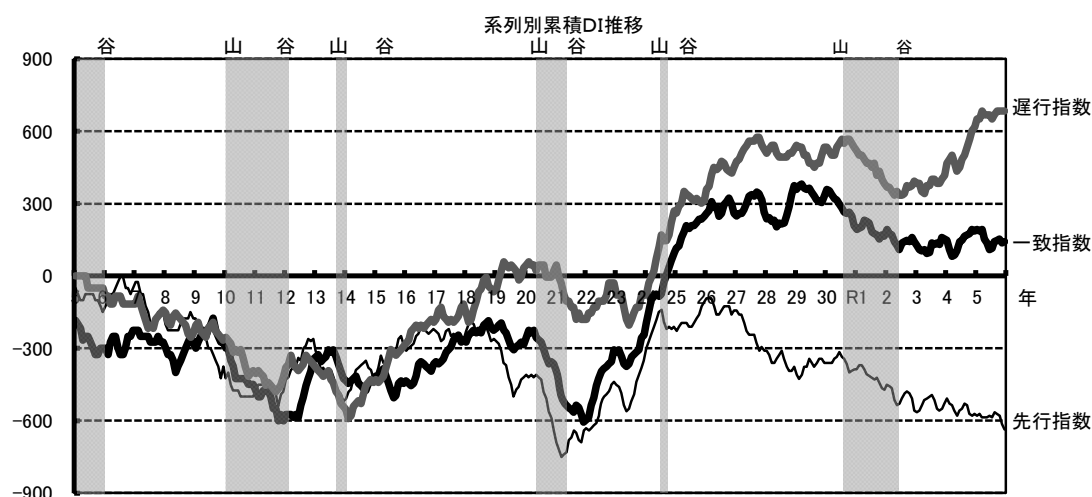
区 分	令和5年											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
先行指数 (D . I)	42.9	57.1	35.7	50.0	50.0	57.1	42.9	71.4	42.9	42.9	14.3	28.6
一致指数 (D . I)	55.6	44.4	55.6	11.1	33.3	22.2	55.6	77.8	55.6	55.6	33.3	55.6
遅行指数 (D . I)	83.3	50.0	83.3	33.3	50.0	50.0	33.3	66.7	66.7	50.0	50.0	50.0

注)DIは、先行(7指標)、一致(9指標)、遅行(6指標)に属する各経済指標について、3ヵ月前と比較して改善している指標の割合を指数としている。

### ③ DIの推移



(参考) 累積DIの推移 (平成5年以降)



注1) 累積指数は、基準月(平成5年1月)の値を0として各月のDIの値を次式により累積したものである。

$$\text{累積DI}(t) = \text{累積DI}(t-1) + (\text{DI}(t) - 50)$$

注2) DI及び累積DIは景気の方角性のみを表すものであり、その水準や振幅の大きさは景気動向と無関係である。

注3) グラフでは各指数の動きを見やすくするため、一致指数に-200を加算してある。

注4) 影の部分は国における景気後退期を示す。

## -景気動向指数利用の手引き-

### (1) 景気動向指数の概要

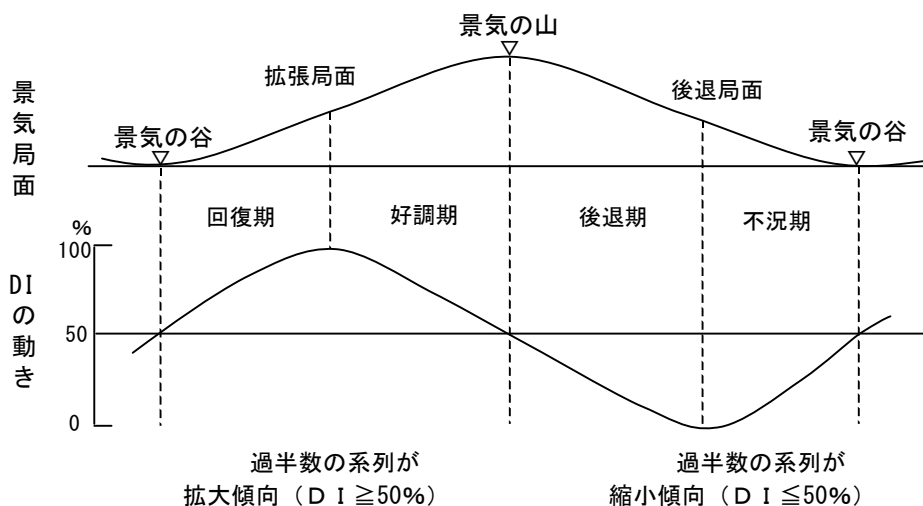
- 景気動向指数は、景気の勢いや方向性を知るために、景気の動きを敏感に反映する経済指標を組み合わせて作成された総合的な経済指標である。景気の勢いを示すC I（コンポジット・インデックス）と、景気の方角性を示すD I（ディフュージョン・インデックス）の2種類の指数があり、両者の動きを総合して景気の現状把握や将来予測等を行う。
- C I、D Iはともに、景気に先行して動く先行指数、ほぼ一致して動く一致指数、遅れて動く遅行指数の3種類の指数を作成する。一致指数は景気の現状把握に利用する。先行指数は景気の動きを予測するために利用する。遅行指数は景気の転換点や局面の確認に利用する。

### (2) C I（コンポジット・インデックス Composite Index）の概要

- C Iは複数の経済指標の前月と比べた変化量を合成したものである。例えば、いわき市のC Iでは、大型小売店等販売額等9つの経済指標の変化量を合成して一致指数を作成している（詳細な計算方法については、内閣府経済社会総合研究所のホームページ [http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/menu\\_di.html](http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/menu_di.html)を参照）。
- C Iの変化の大きさは景気のテンポ（勢い）を示す。景気の拡大期にはC Iが上昇傾向を示し、後退期には下降傾向を示す。ただし、C Iは上昇・下降を繰り返しながら変化するため、景気局面の判断はD Iを含めた総合的な指標によって判断する。

### (3) D I（ディフュージョン・インデックス Diffusion Index）の概要

- D Iは、複数の経済指標の変化方向を合成したものである。採用指標の各月の値を3ヵ月前の値と比較して、改善した指標の割合がD Iとなる。例えば、いわき市の一致指数では9つの指標を採用するため、そのうち3つが改善したならば  $3 \div 9 = 0.333$  (DI=33.3%) と計算する。
- 一般に、50%を上回っているときに景気の拡張局面、50%を下回っているときに後退局面、50%を上から下に切るときが景気の山、50%を下から上に切るときが景気の谷とされる。



### (4) 景気基準日付

景気の山・谷（拡張局面と後退局面との転換点）を景気基準日付と呼ぶ。この景気基準日付は、D Iの動きのほか、他の主要経済指標の動きなども総合的に勘案して設定されるが、国では以下のように定めている。

景気基準日付（全国）

区分	谷	山	谷	区分	谷	山	谷
第1循環		S26. 6.	S26. 10.	第9循環	S52. 10.	S55. 2.	S58. 2.
第2循環	S26. 10.	29. 1.	29. 11.	第10循環	58. 2.	60. 6.	61. 11.
第3循環	29. 11.	32. 6.	33. 6.	第11循環	61. 11.	H 3. 2.	H 5. 10.
第4循環	33. 6.	36. 12.	37. 10.	第12循環	H 5. 10.	9. 5.	11. 1.
第5循環	37. 10.	39. 10.	40. 10.	第13循環	11. 1.	12. 11.	14. 1.
第6循環	40. 10.	45. 7.	46. 12.	第14循環	14. 1.	20. 2.	21. 3.
第7循環	46. 12.	48. 11.	50. 3.	第15循環	21. 3.	24. 3.	24. 11.
第8循環	50. 3.	52. 1.	52. 10.	第16循環	24. 11.	30. 10.	R2. 5.

(5) いわき市の景気動向指数採用系列の概要

項目		内容		原データの出典
先行系列	1 自動車新規登録台数	季	代表的な耐久消費財である自動車の販売動向を示し、いわき市における消費動向が反映されている。	いわき自動車検査登録事務所、全国軽自動車協会連合会いわき支所
	2 新設住宅着工戸数	季	住宅への投資動向を表す。住宅投資の増加は建設資材需要や家具の買替え需要などの波及効果をもたらす。	福島県土木部
	3 建築確認申請受付件数	季	住宅を含む建設投資動向が反映される。家計の動向のみならず、企業等の景気見通しに影響される。	いわき市建築指導課
	4 鉱工業在庫率指数(逆)	季	鉱工業在庫指数/出荷指数により算出。景気回復局面に低下、悪化局面に上昇する。	福島県企画調整部
	5 中小企業DI(全業種)	原	企業経営者の景況感を指標化したもの。増加(好転)企業割合-減少(悪化)企業割合により算出。企業の生産・投資活動との関連性が高い。0が横ばい(または景気の転換点)の水準。	福島県産業振興センター
	6 新規求人倍率	季	月間新規求人数/月間新規求職者数で算出。労働需給の変化が敏感に反映され、特に景気の山の判定に活用される。	ハローワーク平
	7 いわき市景気ウォッチャー先行き判断DI	原	市内の様々な職種の景気ウォッチャーの方々の生活実感を指数化したもの。50が横ばい(もしくは景気の転換点)の水準。	いわき市産業チャレンジ課
一致系列	1 公共工事受注額	移	いわき市内における公共工事の受注高。	いわき市建設業協同組合、(社)福島県建設業協会いわき支部
	2 観光施設利用者指数	季	いわき市内の主要観光施設の利用者数。平成25年第I四半期を100として指数化したもの。	いわき市産業チャレンジ課
	3 大型小売店等販売額	前	いわき市内の主要な大型小売店舗の販売額であり、本調査のため、いわき市独自で調査したデータ。	いわき市産業チャレンジ課
	4 鉱工業生産指数	季	鉱工業部門の生産数量を指数化したもの。県のデータをいわき市の産業構造を基に加工した市独自の指数。	いわき市産業チャレンジ課(原データ:福島県)
	5 鉱工業出荷指数	季	鉱工業部門の出荷数量を指数化したもの。県のデータをいわき市の産業構造を基に加工した市独自の指数。	いわき市産業チャレンジ課(原データ:福島県)
	6 小名浜港輸入通関実績	季	小名浜港を通過して輸入された貨物の金額。工業用原材料が多くを占める。	横浜税関
	7 いわき市中小企業融資制度融資残高	前	いわき市の中小企業向け低利融資制度に係る融資残高であり、市内中小企業の資金需要の増減が反映される。	いわき市産業チャレンジ課
	8 有効求人倍率	季	月間有効求人数/月間有効求職者数で算出され、労働需給が反映される。	ハローワーク平
	9 高速道路出入交通量	季	いわき市内インターにおける車両の出入交通量。	株式会社ネクスコ・トール東北いわき事業部
遅行系列	1 入湯税調定人員	季	いわき湯本をはじめとする市内の温泉利用者数。観光客数の動向が反映されている。	いわき市市民税課
	2 いわき市中央卸売市場取扱高	季	いわき市中央卸売市場の青果部、水産部における取扱高。飲食需要が反映され、その増減に景気の動きが反映される。	いわき市中央卸売市場
	3 鉱工業在庫指数	季	鉱工業部門の在庫数量を指数化したもの。県のデータをいわき市の産業構造を基に加工した市独自の指数。	いわき市産業チャレンジ課(原データ:福島県)
	4 いわき市中小企業融資制度融資利率	前	いわき市の中小企業向け低利融資制度に係る融資利率であり、市内中小企業の資金需要の増減が反映される。	いわき市産業チャレンジ課
	5 法人市民税調定額	季	企業の所得変動を税収面から捉えた指標であり、過去1年間の経済活動の状況が反映される。	いわき市市民税課
	6 雇用保険受給者実人員(逆)	季	失業給付を受けている有効失業者数であり、景気に遅行し逆サイクルで動く。	ハローワーク平

注) 季: X-13ARIMA-SEATSによる季節調整値、前: 原数値の前年同月比、原: (四半期) 原数値、移: 12ヵ月移動平均  
 逆: 景気の上昇期に減少(低下)し、下降期に増加(上昇)するもの。

## 【参考】国・県の動き

### 1 経済・景気の動向

(1) 国の動向	<p>(我が国経済の基調判断)</p> <p>景気は、このところ足踏みもみられるが、緩やかに回復している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人消費は、持ち直しに足踏みがみられる。</li> <li>・設備投資は、持ち直しに足踏みがみられる。</li> <li>・輸出は、このところ持ち直しの動きに足踏みがみられる。</li> <li>・生産は、持ち直しに向かっていたものの、一部自動車メーカーの生産・出荷停止の影響により、このところ生産活動が低下している。</li> <li>・企業収益は、総じてみれば改善している。企業の業況判断は、改善している。</li> <li>・雇用情勢は、改善の動きがみられる。</li> <li>・消費者物価は、このところ緩やかに上昇している。</li> </ul> <p>先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。さらに、令和6年能登半島地震の経済に与える影響に十分留意する必要がある。</p> <p>(内閣府「月例経済報告」令和6年2月公表分)</p>
(2) 県の動向	<p>県内の景気は、先行きに不透明感がみられるものの、緩やかに持ち直している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人消費……持ち直している。</li> <li>・建設需要……持ち直しの動きがみられる。</li> <li>・生産活動……一進一退の状況が続いている。</li> <li>・雇用・労働……一部に弱い動きがみられる。</li> <li>・物価……企業物価指数、消費者物価指数はともに前年を上回っている。</li> <li>・企業・金融……企業倒産件数、負債総額はともに前年を上回った。預金残高、貸出残高はともに前年を上回った。</li> </ul> <p>(福島県「最近の県経済動向」令和6年2月公表分)</p>

### 2 景気動向指数(CI)

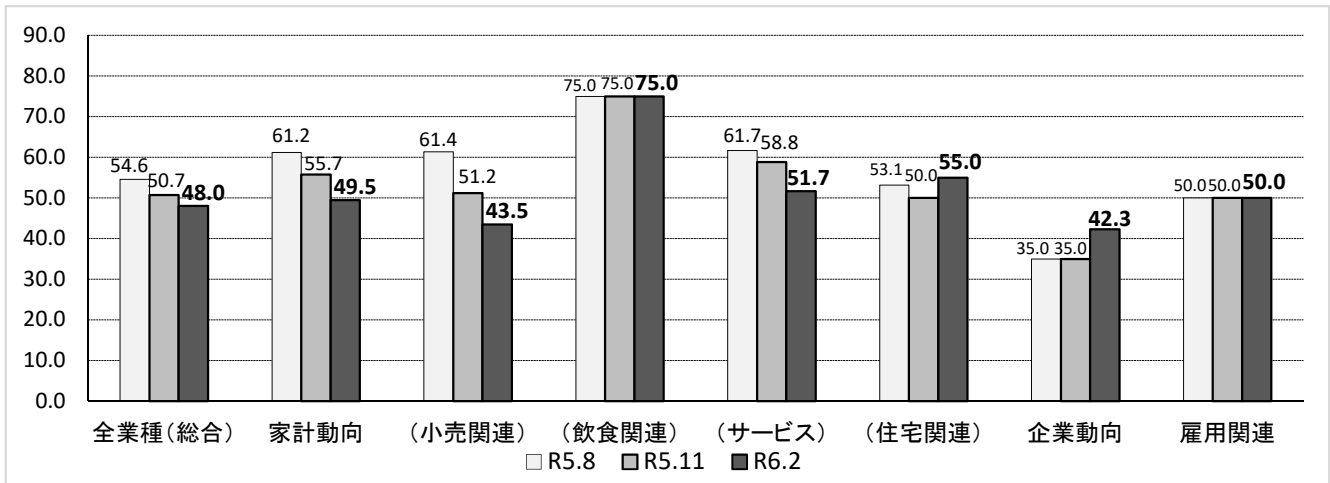
(1) 国の動向	<p>12月のCI(速報値・令和2(2020)年=100)は、先行指数:110.0、一致指数:116.2、遅行指数:106.0となった。</p> <p>先行指数は、前月と比較して1.9ポイント上昇し、4ヵ月ぶりの上昇となった。3ヵ月後方移動平均は0.20ポイント上昇し、2ヵ月ぶりの上昇となった。7ヵ月後方移動平均は0.14ポイント上昇し、2ヵ月ぶりの上昇となった。一致指数は、前月と比較して1.6ポイント上昇し、2ヵ月ぶりの上昇となった。3ヵ月後方移動平均は0.17ポイント上昇し、2ヵ月ぶりの上昇となった。7ヵ月後方移動平均は0.14ポイント上昇し、2ヵ月ぶりの上昇となった。遅行指数は、前月と比較して0.3ポイント上昇し、3ヵ月ぶりの上昇となった。3ヵ月後方移動平均は0.13ポイント下降し、2ヵ月連続の下降となった。7ヵ月後方移動平均は0.10ポイント下降し、22ヵ月ぶりの下降となった。</p> <p>(内閣府経済社会総合研究所「景気動向指数」令和6年2月公表分)</p>
(2) 県の動向	<p>1 概 括</p> <p>12月の景気動向指数(CI:コンポジット・インデックス、H27年=100)は、先行指数102.3ポイント、一致指数78.1ポイント、遅行指数101.3ポイントとなった。</p> <p>先行指数は、前月(104.6ポイント)を2.3ポイント下回り、3ヵ月連続の下降となった。</p> <p>一致指数は、前月(73.8ポイント)を4.3ポイント上回り、2ヵ月振りの上昇となった。</p> <p>遅行指数は、前月(106.2ポイント)を4.9ポイント下回り、2ヵ月連続の下降となった。</p> <p>2 一致指数の動向</p> <p>寄与度がプラスの系列</p> <p>生産財出荷指数、鉱工業生産指数、最終需要財出荷指数、雇用保険受給者実人員</p> <p>寄与度がマイナスの系列</p> <p>有効求人倍率、建築着工床面積(鉱工業)、百貨店・スーパー販売額(既存店)、所定外労働時間指数(全産業)</p> <p>(福島県「福島県景気動向指数」令和6年2月公表分)</p>

## Ⅱ いわき市景気ウォッチャー調査：令和6年2月時点

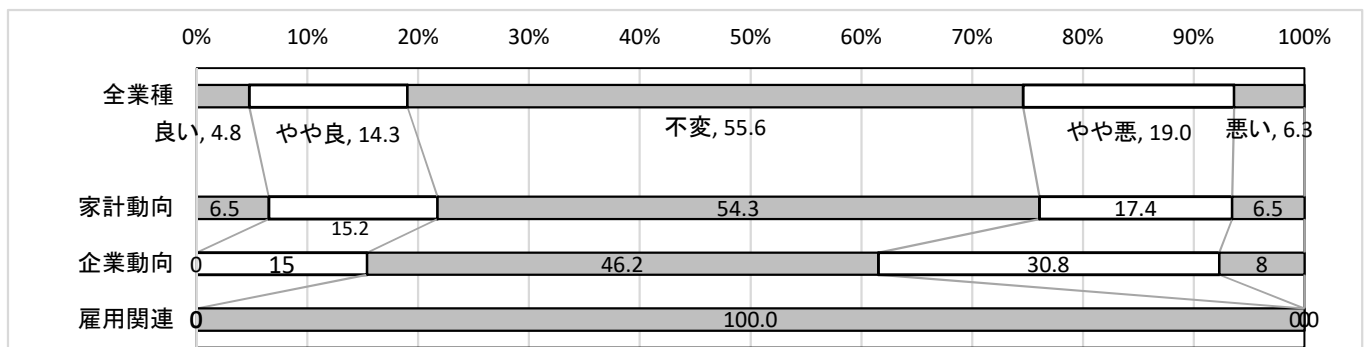
### 1 景気の現状について

#### (1) 現状判断DI

- 全業種（総合）の現状判断DIは48.0と、前回より2.7ポイント低下した。内訳では、家計動向が低下し、企業動向が上昇、雇用関係は横ばいとなった。
- 主要業種別では、家計動向が49.5と前回より6.3ポイント低下した。家計の内訳では、住宅関連が上昇し、飲食が横ばい、小売、サービスが低下した。企業動向は42.3と7.3ポイント上昇、雇用関連は50.0と横ばいとなった。



- 全業種（総合）の回答内容をみると、3ヵ月前と比べて「良くなっている」は4.8%であり、「やや良くなっている」が14.3%、「変わらない」が55.6%、「やや悪くなっている」が19.0%、「悪くなっている」が6.3%となった。



#### (2) 現状判断の理由

現状判断の理由として、家計動向では「来客者数の動き」、企業動向では「受注量や販売量」、雇用関連では「求職者数の動き」「周辺企業の動き」などが多く挙げられた。

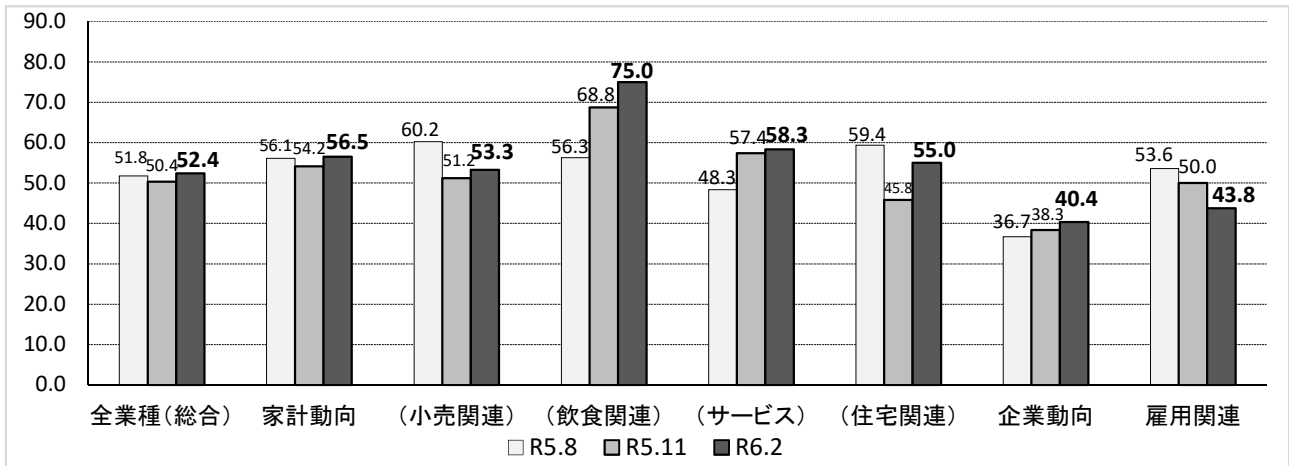
項目(家計)	良い	不変	悪い	合計	項目(企業)	良い	不変	悪い	合計	項目(雇用)	良い	不変	悪い	合計
1. 来客者数の動き	5	9	7	21	1. 受注量や販売量	2	2	2	6	1. 求人数の動き	0	0	0	0
2. 販売量の動き	2	7	3	12	2. 受注価格や販売価格	0	0	1	1	2. 求職者数の動き	0	2	0	2
3. 単価の動き	0	3	0	3	3. 取引先の様子	0	2	2	4	3. 採用者の動き	0	0	0	0
4. お客様の様子	3	4	1	8	4. 競争相手の様子	0	1	0	1	4. 周辺企業の動き	0	2	0	2
5. 競争相手の様子	0	0	0	0	5. その他	0	1	0	1	5. その他	0	0	0	0
6. その他	0	2	0	2	合計	2	6	5	13	合計	0	4	0	4
合計	10	25	11	46										



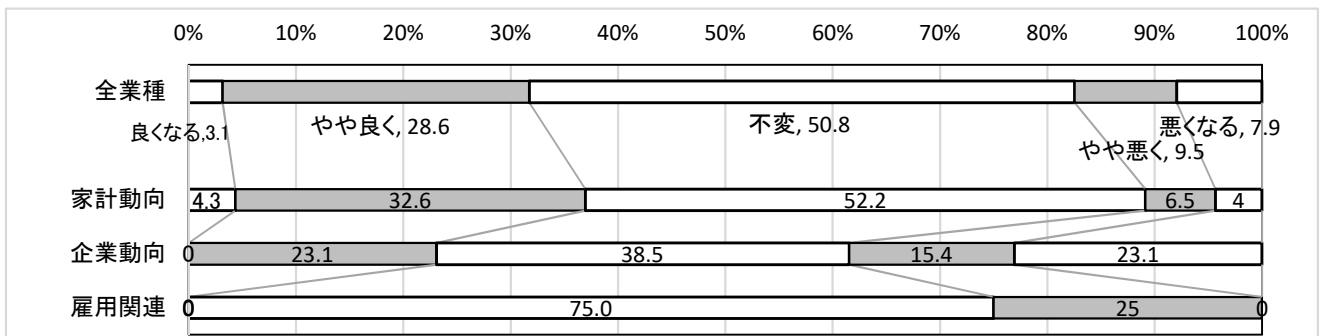
## 2 景気の先行きについて

### (1) 先行き判断DI

- 全業種（総合）の先行き判断DIは52.4と、前回より2.0ポイント上昇した。内訳では、家計動向及び企業動向が上昇し、雇用関連が低下した。
- 主要業種別では、家計動向が56.5と前回より2.4ポイント上昇した。家計の内訳では、小売、飲食、サービス、住宅関連のすべてが上昇した。企業動向は40.4と2.1ポイント上昇し、雇用関連は43.8と6.3ポイント低下した。



- 全業種（総合）の回答内容をみると、2～3ヵ月先には「良くなる」は3.1%であり、「やや良くなる」が28.6%、「変わらない」が50.8%、「やや悪くなっている」が9.5%、「悪くなっている」が7.9%となった。



### (2) 先行き判断の理由

先行き判断の理由として、家計動向では「来客者数の動き」、企業動向では「受注量や販売量」、雇用関連では「周辺企業の動き」などが多く挙げられた。

項目(家計)	良い	不変	悪い	合計	項目(企業)	良い	不変	悪い	合計	項目(雇用)	良い	不変	悪い	合計
1. 来客者数の動き	8	8	2	18	1. 受注量や販売量	3	2	2	7	1. 求人数の動き	0	1	0	1
2. 販売量の動き	6	4	1	11	2. 受注価格や販売価格	0	1	1	2	2. 求職者数の動き	0	1	0	1
3. 単価の動き	1	3	0	4	3. 取引先の様子	0	2	2	4	3. 採用者の動き	0	0	0	0
4. お客様の様子	1	7	1	9	4. 競争相手の様子	0	0	0	0	4. 周辺企業の動き	0	1	1	2
5. 競争相手の様子	0	0	1	1	5. その他	0	0	0	0	5. その他	0	0	0	0
6. その他	1	2	0	3										
合計	17	24	5	46	合計	3	5	5	13	合計	0	3	1	4

### 3 市内景気に関する自由意見

(アンケート自由意見欄にご記入頂いた内容。  
記入された方が特定される情報等は割愛させていただきました。  
また、同種のご意見はまとめさせていただきました。)

#### (街の様子)

- 来街者も昨年より増えてきており、消費も伸びてきているように思われる。
- 週末は駅前に人の流れがない。
- (いわき駅) 駅前商店街は昨年末から閉店する店舗が増えてきている。
- 通年だと新入生学販の時期で採寸や予約で忙しくなるが、今年はスタートが遅いというか、心配になる。
- 正月過ぎから2,3月は閑散期である。4月からの福島台湾直行便の定期便化と格安航空券によるインバウンド需要に期待する。

#### (消費動向)

- いわき北部の宿泊施設は少ないが、隣の双葉郡の宿泊施設は乱立気味で、さらにいわき駅前にはさらに大手が増えており、競争は厳しくなるばかりである。景気の見込みはまったくわからず、対応も難しいのが現状である。他施設との差別化を図り、日中はカフェを営業しているが、宿泊への波及効果は読めない。ただ施設の宣伝にはつながっている。
- 賃金動向(可処分所得)による消費者のマインドの影響が大きい。「株高」や「企業の好決算発表」等により期待感は大いだが足元の動向は特に市内に限っていえば厳しい。
- プレミアムタクシー券が好評。
- 能登地震の影響を懸念。しばらく頑張るしかない。

#### (物価高、人材不足)

- 原材料、人件費の高騰が継続するのか?
- 人材不足。
- 人材確保が最大の課題である。

## - いわき市景気ウォッチャー調査の概要 -

### (1) 調査の目的

市内の家計動向関連、企業動向関連、雇用関連の事業所等で働く市民の方々を対象にアンケートを実施することにより、いわきの街角景気及びその変化を迅速かつ的確に把握する。

### (2) 調査客体及び有効回答率

家計動向関連76人、企業動向関連23人、雇用関連8人の合計107人を調査客体とする。

今回（令和6年2月）の調査の回答数は63人（有効回答率58.9%）である。

分野	調査客体	構成比	有効回答数	業種
家計動向関連	76人	71%	46人	
小売関連	34人	32%	23人	小売店、スーパー、コンビニ等
飲食関連	8人	7%	3人	居酒屋、ファーストフード等
サービス関連	25人	23%	15人	タクシー、ホテル、観光施設等
住宅関連	9人	8%	5人	工務店、不動産販売・仲介・賃貸等
企業動向関連	23人	21%	13人	広告、ビル管理、警備、会計等
雇用関連	8人	7%	4人	人材派遣、職業紹介等
合計	107人	100%	63人	

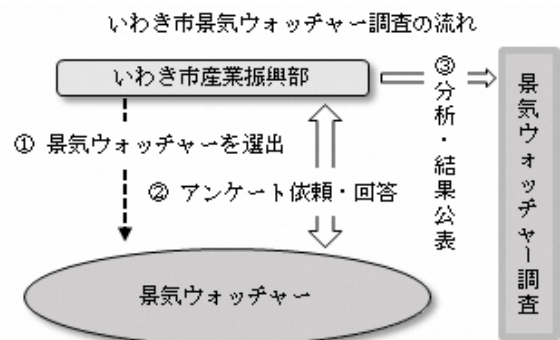
### (3) 調査客体

次の事項について、毎年2月、5月、8月、11月に調査を実施する。

- 1) 景気の現状に対する判断（方向性）とその理由
- 2) 景気の先行きに対する判断（方向性）とその理由

### (4) 調査方法

いわき市産業チャレンジ課において景気ウォッチャーを任命し、調査を実施する。調査票の配付・回収・結果の分析は産業チャレンジ課と外部調査機関（株式会社システムプランニング）が協力して行う。調査結果は、産業チャレンジ課が原則として調査の翌月に公表する。



### (5) D I の算出方法と見方

景気の現状や先行きに対する判断を次の5段階に区分し、各回答区分の構成比（%）に対して、対応する点数を乗じることによりD I を算出する。

D I は50が景気判断の分かれ目であり、50を上回れば景気の拡大局面、50を下回れば後退局面と判断する。

回答区分	現状判断 (3カ月前と比較)	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
	先行き判断 (3カ月後の見通し)	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
点数		1	0.75	0.5	0.25	0

(6) 景気ウォッチャー調査票

調査票は、原則としてFAXまたはメールにより配付・収集を行う。

<b>いわき市景気ウォッチャー調査票（令和 年度第 回）</b>	
令和 年 月 日	
ご回答者	
ご所属・お名前 _____ 様	
あなたの身の回りの景気（仕事の状況や、仕事を通じて接するお客様の様子）についてご回答ください。	
<b>該当項目を1つだけ選択し、番号に○をしてください。例：① 良くなっている。</b>	
<b>【質問1】</b> 今月の景気は3ヵ月前と比べて、良くなっていると思 いますか、悪くなっていると思いませんか？ 1つお答えください。	1 良くなっている 2 やや良くなっている 3 変わらない 4 やや悪くなっている 5 悪くなっている
<b>【質問2】</b> 質問1のご回答理由では、どのような点に最も着目し ましたか？ 1つお答えください。	1 采客数の動き 2 販売量の動き 3 単価の動き 4 お客様の様子 5 競争相手の様子 6 それ以外
<b>【質問3】</b> あなたの仕事の状況やお客様の様子からみて、 2～3ヵ月先は、今月より良くなっていると思いま すか、悪くなっていると思いませんか？ 1つお答えください。	1 良くなる 2 やや良くなる 3 変わらない 4 やや悪くなる 5 悪くなる
<b>【質問4】</b> 質問3のご回答理由では、どのような点に最も着目し ましたか？ 1つお答えください。	1 采客数の動き 2 販売量の動き 3 単価の動き 4 お客様の様子 5 競争相手の様子 6 それ以外
<b>【自由回答（市内景気動向に関して）】</b>	

※質問2、4について、上記は家計動向関係向けの選択肢の内容。

企業動向関係、雇用関係向けの選択肢の内容は次の通り。

企業動向関係

- 1 受注量や販売量の動き
- 2 受注価格や販売価格の動き
- 3 取引先の様子
- 4 競争相手の様子
- 5 それ以外

雇用関係

- 1 求人数の動き
- 2 求職者数の動き
- 3 採用者の動き
- 4 周辺企業の動き
- 5 それ以外



---

編集・発行 いわき市 産業振興部 産業チャレンジ課  
〒970-8686 いわき市平字梅本 21 番地  
電 話 0 2 4 6 - 2 2 - 1 1 2 6 (直通)  
e-mail : sangyochallenge@city.iwaki.lg.jp

---